

第4回 豊前市立学校通学区域審議会の要点記録

日時 令和4年11月25日(金)10時～10時50分
場所 豊前市役所 地階 第7会議室

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議題

①前回（第3回）の要点について【事前配布】

事務局説明後、質疑なし。市ホームページへの掲載を承認。

②答申（案）について【事前配布】

事務局説明。

事務局：前回審議の中で委員から出た意見を踏まえて、おわりにの文書をつけている。
ご審議いただきたい。

委員：答申の（1）から（3）について、合岩地区の人は義務教育学校に行かないといけないが、部活動が成立するのか。中学生になったら部活ができる学校に行くのではないか。そうすると合岩地区は尚更過疎化してしまう。

それから（1）の統合中学校について、八屋、角田、千東中学校区は記載があるが、三毛門はどこに行けばいいのか。

事務局：三毛門については、吉富中が指定校になっているので、この再編計画が決定し3月議会で承認を得たら、三毛門小学校区の方に、新しい中学の姿を説明し意見などを聞こうと思っている。もし新しい中学の希望者が圧倒的に多い状況になれば、段階を踏んで吉富町と協議していくことになる。吉富中の組合議会にも町長にも、進捗状況や計画の説明は十分しているので、三毛門の方の意見を参考にしながら今後の吉富中の運営に活かしていきたい。

委員：今言ったことは答申に含まれていない。それは入れなくてもいいのか。

事務局：冒頭からも説明してきたが、組合立の吉富中については維持するという原則になっているので、三毛門小学校区の方は今まで通り吉富中に進学する。

委員：組合立に年間3000万近く負担金を出しているから経済的にこのままでいいのか、ということだ。新しい中学校ができれば、三毛門の方もそこに通う。ただし、希望すれば吉富中に通うことも可能、というような形にはできないのか。

事務局：基本は今の組合立を維持するということになる。豊前市の再編の都合で突然組合を維持することをやめて、吉富町に混乱を招くということは避けないといけない。そういう経過も相談の上進めてきているし、方向性については了承いただいている。三毛門は吉富中に進学が原則だが、三毛門から吉富中に行かずに八屋や千束に来ている子どもも既にいる。今と基本的に同じ方法で対応するというのが、スタート時点の考え方である。ただ、統合中学校の魅力が発信されていけば、三毛門でも区域外就学を望む家庭が増えるということは当然想定される。その場合は、組合立で相談し、状況を見ながら話し合うことになるだろう。

会長：三毛門については北小から吉富中に行くというのは、最初の学校再編の話で皆さんに了解をいただいている。その中で、希望すれば別の学校にも行けるということを入れているので伝わるだろう。

委員：ならば（1）に「ただし三毛門小学校校区については」と記載しないと、一般的に違和感を覚えるのではないか。

会長：原案では新設中学の通学区域には、三毛門小のことが入っていない。三毛門のことを考えて意見を出していただきたい。触れられてなかったらどう思うか。

委員：市内の校区の話なので、一言入れた方がいい。三毛門校区からは吉富中という前提があったとして、それを知らない人はこの文章だけだと違和感を覚えるかもしれない。丁寧な説明としては、但し書きを入れた方が分かりやすい。

委員：吉富中に行くと中津南高や工業に行けるという話なので、三毛門に住んでいる子どもが希望するなら吉富中に行けばいい。大前提として、市役所と教職員の方が揉んだ基本路線に沿っていけばいいかと思う。

会 長：学校再編と通学区域は分けて考えないといけない。学校再編の案は決められている。それを受けて通学区域をどうするかである。三毛門は北小から吉富中へ、という前提で進めているから今まで意見としても出てきていない。だから、この答申だけしか見ていない人からしたら違和感を覚えるかもしれないが、今までの流れを見ている人からしたらどうだろうか。

委 員：一般の方は、この答申を見ただけで判断する。だから、「ただし三毛門小学校区の児童生徒は～」と言加えた方がわかりやすい。新しい中学校ができたなら三毛門地区ももしかしたら吉富中より近いかもしれない。そうした時に新しい中学校を希望する方がいるのではないか。

事務局：組合立の維持については、現状を覆すことは考えていない。進学方法としては、区域外就学がある。また、新設中学校を選ぶ子どもが多ければ、組合立で相談し今後廃止されるということも、想定としてはある。ただ、組合立を維持するのが前提であり、吉富中の進学先に中津の学校があることを重視する保護者が一定数いる。そういう三毛門での話し合いも尊重しているのでご理解いただきたい。

委 員：現状のままなら現状のままでもいいが「ただし、希望があれば中央中学校に行くことができる」という文言を入れた方がすっきりする。

事務局：但し書きが必要であるということであれば「三毛門小学校区は吉富中に進学することを基本とする」という文を追加してもいいと思う。ただ、今も指定された区域以外への通学は可能であるので「希望があれば～」の部分は必要ない。その代わり、三毛門は吉富中への進学が前提であることがわかる一文を添えようと思うがどうか。

委 員：現状通りのことをあえて加える必要はないのではないかと思う。また、相手があるので、今後の事を公式な文章に加えるのは望ましくない。あえて入れるのであれば「おわりに」に、今後三毛門校区はこうなることも考えられる、程度がよい。

委 員：合岩地区の中学生は義務教育学校に行かないといけないのか。

事務局：この学校が基本の校区だと決めているだけなので、区域外就学も可能である。

逆に、義務教育学校は、6・3制の区切りを超えてカリキュラムを作れる新しい考え方の学校であるので、小規模特認校として9年間の特色あるカリキュラムで子どもを呼び込みたいと考えている。まだ何も決定してはいないが、他にない文化的な部活を作りたいと考えている。当然合岩小中の子どもだけでは今より増えることはないので、魅力を発信し、合岩が寂れてしまうことがないように特色を持たせていけたらと考えている。

委員：合岩小中に他の地区から通えるというのは文章として出ているか。

事務局：小規模特認校として合岩小中、大村小は区域を超えて通学できると文書で出している。

委員：一般の方は意味がわかっているだろうか。広報か何かで出しているのか。

事務局：毎年出している。最近でも、小規模特認校はこういう特色ある学校として生徒の募集をしている、と市報に掲載した。

会長：先ほどから三毛門小を今回の答申書に載せるか否かという話をしているが、答申書に載せるとなると、やはり吉富町との話し合いをきちんとしておかないと難しいと思う。そこを考えると今回の答申書は、通学区域について三毛門小学校は原案のまま、というところで行きたい。今後、教育委員会の方で話を詰めていかないといけないことがあるかと思う。それでどうか。

異議なし

会長：答申書については原案通りということで皆さんに了承いただいたので、議事はこれで終わりたい。

事務局：再度確認なのだが、答申書はこのままでよいか。

会長：よい。

事務局：それでは、今回の内容で答申書を出したいと思う。

4. その他

事務局：先ほど審議いただいた答申に関して、今後の流れを説明する。このまま案をとった形で答申書となる。正式な答申書は、会長より教育委員会に提出していただく。本来であれば審議委員の皆に集まっていたのが理想だが、修正がないので、会長のみ出席ということによいか。

委員：よい。

事務局：議会日程等を考慮しながら会長と日程調整後、答申に移る。本日の議事録の要点記録は後日送付するので、ご意見等あれば事務局に連絡いただきたい。答申を受けた後、ホームページや市報等で市民にお知らせしていきたい。

事務局：貴重なご意見ありがとうございました。非常に重たい内容で勇気ある発言をいただいたことだと思う。今日の議論を踏まえ、二つ補足したい。

一つは三毛門から吉富中へという流れについて、しばらくは組合を維持するという形で了解を得ている。吉富町には二校あるが、豊前市と同じようにそろそろ大改装をしないとイケない年度を迎えてきている。こちらから提案をしなくても吉富町から、今後どうするか投げかけられる可能性もある。そういうことも考えながらの今回の提案であり、今の段階から発信の方法を考えているということも合わせてご理解いただければと思う。

それから、角田地区からアンケートという形で具体的な声をいただいている。子どもたちの教育の未来のあり方を尊重すべき、ということで今回の答申をいただいたが、これからもPTAに直接説明する場を設けたりして、角田地区への説明を続けていきたい。それでも、角田地区は中央小でなくて北小が良いと地区の総意としての要望があれば、教育委員会として、しっかり検討していきたいという思いを持っている。その思いを附則としてつけるのがよいのではということでこの形にさせていただいた。今回議論いただいたことに基づき、これからもしっかり取り組んでいきたい。

5. 閉会